

郷中だより

令和2年 9月14日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第11号

先週の金曜日は、あいさつ運動や地域支援ボランティアの方々が学校にたくさんお越しくださいました。あいさつ運動の時間帯には、まだ曇り空でしたが、地域支援ボランティアさんたちがグラウンドの草刈りをしてくださっている間にザーッと雨が降りだしました。でも、「子どもたちに気持ちよく体育会の練習をしてほしいから」と予定しておられたところまで、雨の中、きれいにしてくださいました。また、お忙しい中をあいさつ運動に参加してくださるだけでもありがたいのに、そのあとも草抜きを手伝ってくださった保護者の方もおられ、感謝、感謝の連続です。休み時間にグラウンドを眺めていた生徒たちも、きっと私と同じ気持ちだったと思います。



裏面に続く (15)

コロナでも郷内の伝統は引き継いで！

体育会まであと4日になり、練習も大詰めになってきました。全体練習初日の始業前に、3年生が自発的に小松先生の手伝いをしていたり、演技係の動きの確認をしていたりして、まるで予行か本番が始まる前のようでした。中学校生活最後の体育会で、3年間の集大成を見せたいという気迫が伝わってきました。2回目の全体練習では、学年ごとにパフォーマンスを見せ合いました。1年生の剣道では、号令係さんの号令が立派だったので、自然に観客席から温かい拍手が起こりました。

「何事にもまっすぐな気持ちで取り組む」郷内の伝統を引き継いで、競技や演技をし、校歌で感動のフィナーレを迎えたいですね！



保護者・地域の皆様へ

毎日、体育会の練習でマイクや音楽の音量等で、ご迷惑をおかけしております。また、日頃から、温かい気持ちで生徒の成長を見守っていただき、ありがとうございます。

今年の体育会は無観客で行うことになり少し寂しいですが、心に残る体育会にするために、生徒は短い期間で一生懸命にパフォーマンスの振り付けや係の仕事を覚え、徐々に気持ちも高まっています。当日も地域の方や家族が、心の中で応援してくださっていることを感じながら精一杯頑張ると思います。ご家庭や地域で、体育会で頑張ったことや上手になったことなどを話題のひとつにしてくださいれば幸いです。